

UVインキ

## UV KFI シリーズ

“UV KFI”シリーズは、樹脂凸版およびドライオフセット印刷用紫外線硬化型インキで、密着性を重点的に考慮し、特に各種フィルムに対し接着良好なタイプとなっております。

## ■ 基準色および耐性

品名	耐光性		耐熱性	耐石けん性	耐溶剤性
	濃色	淡色			
UV KFI 黄	4	3	4	5	5
UV KFI 紅	4~5*	3*	4	2	4
UV KFI 藍	8	7	5	5	5
UV KFI 墨	7~8	7	5	5	5
UV KFI メジウム	8	—	5	5	5
UV KFI 白	8	7	5	5	5
UV KFI 金赤	3*	2*	4	1	3
UV KFI 紫	7~8	7	5	5	5
UV KFI グリーン	8	7~8	5	5	5

評価：耐光性 8(優)⇔1(劣)、その他：5(優)⇔1(劣)

\* 水に濡れた状態では、耐光性が極端に悪くなります。

## 〈試験方法〉

耐光性…印刷物をフェードメーターにて照射試験し、暴露時間と変褪色の程度により強度を8段階に分級。

希釈しない濃色とメジウムで5倍に希釈した淡色を試験する。

耐熱性…印刷物を150℃の熱風循環式乾燥機中で10分間加熱し、変褪色の程度により強度を5段階に分級。

耐石けん性…印刷物を10%の石けんゲルに20~25℃で1時間付着し、変褪色の程度および石けんゲルへのブリードの程度により強度を5段階に分級。

耐溶剤性…印刷物をトルエンとアセトンの1:1混合液に20~25℃で24時間浸し、変褪色および混合液へのブリードの程度により強度を5段階に分級。

## ■ 使用上の注意

- ▶ 直射日光に曝さないでください。
- ▶ 冷暗所で保存してください。(30℃以下)
- ▶ 糊付け・箔押し等の加工も条件により可能です。ただし事前に糊・箔を選択し、予備試験によって適性を確認してください。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

- ▶ 人体に影響のないように考慮して設計いたしておりますが、皮膚・衣類にインキが付着したまま長時間放置いたしますと人によってカブレを生じる場合があります。作業時の保護具の着用、作業後の手洗い等ご配慮ください。
- ▶ 他種インキが混入いたしますと、十分な性能が得られませんのでご注意願います。また、原反や下地インキの種類によっては接着しにくいものもありますので、必ず事前にご確認の上ご使用ください。
- ▶ 希釈剤を用いる場合、UV DGLレジューサー(5%以内)をご使用ください。コンテックスを添加する場合は密着性低下に注意して、確認の上ご使用願います。
- ▶ 湿し水を使用する印刷には、使用できません。
- ▶ 機上でのインキのしまりと膨潤を防止するため、樹脂型ロールを使用してください。
- ▶ 非吸収原反へ印刷した印刷物が屋外もしくは水(結露を含む)のかかる環境に置かれた場合、接着力が低下して爪などによって簡単に剥がれることがありますので、ご確認願います。
- ▶ ご使用に際しては、『安全データシート』を参照願います。



2022/02/04 No.W-2

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。